

まえがき

「国語ほど教えにくい教科はない」「国語をどのように教えたらよいのかわからない」という声をよく聞きます。とくに、「読むこと」の指導はむずかしく、子どもたちに読解力をつけさせることができません。読解力がつかない原因の一つに、「教師——子ども」の問答中心の授業が考えられます。教師が問い合わせ、子どもがそれに答え、最後は教師が解説をして終わるという授業です。

これを打開する方法があります。それは、次期学習指導要領のキーワードといわれている「アクティブラーニング」です。アクティブラーニングは、「課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習」です。授業で子どもが課題を設定し、解決に向けて話し合い、表現するなどの探究型の学習を行えば、必ず読解力はついてきます。このことは、平成二十七年四月に実施された全国学力・学習状況調査でも、子どもが話し合いや発表などを通じて主体的に学ぶ「アクティブラーニング」をよく行つた小・中学校ほど平均正答率が高い傾向が見られたことからもわかります。そこで、本書では話し合いや発表を中心としたアクティブラーニング型国語授業をどのようにつくり出したらよいかを書いてみました。その際、阿部昇氏の論文『言語活動』そして『アクティブラーニング』をどうとらえたらしいのか——身につける国語の力と『言語活動』『アクティブラーニング』——『学習集団』『探究型』（『国語授業の改革15』一二〇一五年、学文社）を参考にしました。本書が読者のみなさんの国語授業づくりに少しでも役立てば、うれしく思います。

最後になりましたが、本書を書くにあたつては、編集部の根津佳奈子さん、新留美哉子さんにたいへんお世話になりました。また、今井久恵さんにはすてきなイラストを描いていただきました。ありがとうございました。

一〇一六年五月

加藤辰雄

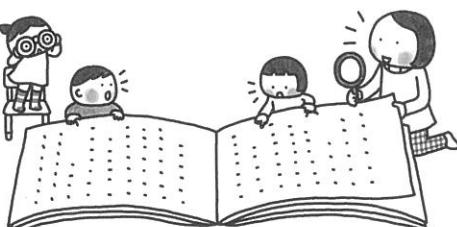
『本冊は国語が苦手な教師のための 国語授業のアクティブ・ラーニング 小学校編』 ● もくじ

まえがき 3

第1章

アクティブ・ラーニング型 国語授業づくりの基礎・基本

13



国語授業におけるアクティブ・ラーニングとは? 14

トトを押さえれば、アクティブ・ラーニングはうまくいく 16

国語力が身につくアクティブ・ラーニングと身につかないアクティブ・ラーニング 18

「活動あって学びなし」に陥らない導入のポイント 20

第2章

アクティブラーニング型 国語授業を成功させる準備ポイント

教材研究なくしてアクティブラーニングなし.....32

学習課題の内容を検討する.....34

アクティブラーニング型授業を成功させる発問のつくり方.....36

アクティブラーニング型授業を成功させる授業案.....38

アクティブラーニング型授業をする指導ポイント.....40

主体的に学ばせるポイント.....42

協働的に学ばせるポイント.....44

ワークシート中心の授業にならないようにする.....46

コラム2

ワークシート中心の授業にならないようにする.....

46

低学年における実践のポイント.....22
中学年における実践のポイント.....24

高学年における実践のポイント.....26
アクティブラーニングの評価規準.....28

コラム1 「活動あつて学びなし」の言語活動にならないようにする.....30

第3章

アクティブラーニング型 国語授業を成功に導く！ 8つのポイント

47

課題設定のポイント	48
学び合いのポイント	50
話し合いのポイント	52
交流のポイント①	54
交流のポイント②	56
交流のポイント③	58
振り返りのポイント①	60
振り返りのポイント②	62
物語の授業では「主人公の気持ちを考えよう」ばかりにならないようにする	64

□ルーム3

第4章

主体的・協働的に学ぶ力を育てる 学習グループ・学習リーダーの指導ポイント

65

第5章

主体的・協働的に学ぶ力を育てる グループ学習の指導ポイント

一斉学習からグループ学習への移行をスムーズにする	82
学習グループでの話し合いの進め方マニュアルをつくる	84
学習グループでの話し合いの回数	86
学習グループでの話し合いの時間	88
学習グループでの話し合いを豊かなものにする	90

学習グループの最適な人数を考える	66
学習グループのつくり方を工夫する	68
ペアや学習グループの座席の並べ方を工夫する	70
学習グループのリーダーを決める	72
学習グループのリーダーの仕事①	74
学習グループのリーダーの仕事②	76
学習リーダーたちと事前打ち合わせをし、事後評価をする	80
コラム4 「語句の意味調べ」は必要なときに行う	78



話し合いがつながるように工夫する..... 92

コラム5

音読練習をさせてからみんなの前で音読させる..... 94

第6章 主体的・協働的に学ぶ「話し合い」を効果的に進めるための準備ポイント

いろいろな形態の話し合ひをさせる..... 96

ペアでの話し合ひをスムーズに行えるようにする..... 98

学級全体の話し合ひでの座席の並べ方を工夫する..... 100

話し合いの「ねらい」を明確にする..... 102

話し合う課題を焦点化する..... 104

正答に迫るためのポイントを確認してから話し合ひ..... 106

コラム6 「短冊にすること」は授業で習得させたい内容にしばる..... 108



主体的・協働的に学ぶ「話し合い」を 深め、高める指導ポイント

ペアや学習グループで話し合う前に個人で考える時間を持つ.....	110
机間指導で学習グループでの話し合いの様子をつかむ.....	112
机間指導で学習グループでの話し合いがうまくいくように助言する.....	114
「話し方」を工夫させて話し合いを深める.....	116
学習グループでの話し合いで学級全体での話し合いを組み合わせる.....	118
学習グループの考え方の発表のさせ方を工夫する.....	120
学習グループ同士の話し合いで試行錯誤させる.....	122
学習グループの考え方を板書し、論点をはっきりさせる.....	124
出された考えを整理し、グループピニングしてまとめる.....	126
学習グループ同士の話し合いを白熱させる.....	128
教師の「立ち位置」を工夫する.....	130
教師の「立ち位置」を工夫する.....	132
板書に子どもを参加させる.....	134



定番教材でわかる アクティブ・ラーニング型国語授業の指導例

説明文「ありの行列」

- 説明文「ありの行列」の教材研究と授業案 134
- ・「ありの行列」の文章構成を読みとる 134
- ・「ありの行列」の文章構成を読みとる授業案 136
- ・板書のポイント 142

論説文「鳥獣戯画」を読む

- 論説文「鳥獣戯画」を読むの教材研究と授業案 134
- ・「鳥獣戯画」を読みとる 134
- ・筆者の説明の仕方の工夫を読みとる 144

- ・「鳥獣戯画」を読むの説明の仕方の工夫を読みとる授業案 145
- ・板書のポイント 148

物語「モチモチの木」

- 物語「モチモチの木」の教材研究と授業案 156

- 物語「じんぎつね」**
- ・「モチモチの木」の主要な事件（出来事）とは何か..... 156
 - ・「モチモチの木」の文章構成を読みとる..... 157
 - ・「モチモチの木」のクライマックスを読みとる..... 158
 - ・「モチモチの木」の終結部（後ばなし）を読みとる..... 159
 - ・「モチモチの木」のクライマックスを探す授業案..... 160
 - ・板書のポイント..... 166

- 物語「じんぎつね」の教材研究と授業案..... 168
- ・「じんぎつね」の主要な事件（出来事）とは何か..... 168
- ・「じんぎつね」の導入部を読みとる..... 168
- ・「時」を読みとる..... 169
- ・「場」を読みとる..... 169
- ・「人物」を読みとる..... 170
- ・「じんぎつね」の導入部（前ばなし）のじんの人物像を読みとる授業案..... 172
- ・板書のポイント..... 178



国語授業における アクティブラーニングとは？

● 問題意識をもち、試行錯誤し、問題解決を図る学習プロセスが重要

学習指導要領では国語授業のめざす姿として、主題に対する興味を喚起して学習への動機づけを行うことから始まり、子どもたちが問題意識をもち、知識・技能を獲得し、試行錯誤しながら主体的に問題の解決を行い、最終的には学習活動を振り返って次の学びにつなげていくような、深い学習プロセスが重要だと説明しています。

● 主体的・協働的に取り組める課題解決型の授業にする

アクティブラーニング型授業は、この姿を実現するうえでたいへん重要な役割を果たします。それは、アクティブラーニングが「課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習」だからです。

すなわち、まず学習課題を教師と子どもたちとで検討しながらつくりあげます。そして、課題解決に向けて、子ども相互が検討し合い、論議し合い、試行錯誤しながら課題を解決していきます。

その際、注意することがあります。それは、その単元でつけたい国語の力は何かを明らかにしておくことです。主体的に生き生きと楽しそうに学んでいたり、話し合いや討論をしながら協働的に学んでいたりしても、身につく国語の力が薄かつたら、あまり有効な授業とはいえないからです。

課題について一人ひとりが主体的に考える



課題解決に向けて協働的に学び合う（試行錯誤する）



自力で課題を解決する

